

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスわか

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数を調整し、広々とした空間で支援している。 ・行動障害の重い方が多く、クールダウン等にスペースを要する。 ・広々とした空間で過ごしていただいている。
	2	職員の配置数は適切である	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数の調整に加え、他部署より応援してもらっている。 ・重度のお子さんに個別的な手厚い支援をしているが、集団に対する支援力の弱さを感じる。 ・個別対応を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりやエレベーター等は設置されている。定期的に点検し、不備のないようにしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画は皆で確認し、会議ではパートの指導員にも伝え、日々の支援で実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・正規指導員のみならず、パート指導員にも参加してもらっている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページにて公開している。ホームページの周知が必要。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・実施していない。必要に応じて実施できるようにしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・各指導員、参加したい研修へ参加している。 ・法人内や外部の研修に参加。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・計画のモニタリング、会議の場での振り返りを行う。 ・保護者様への聞き取りを行う。 ・送迎時にニーズをお伺いする程度。保護者様によってはあまり話されない方や、お子さんの状況によってゆっくり話せないことがある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツール導入を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々では活動を考え実践しているが、チームとして共通認識があるかはわからない。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1階、指導員が考えた遊びを行っている。長期休暇にはレクや買い物学習を実施。 ・固定化しないように活動を充実させていく。 ・固定化しないようにしている部分と、ルーティン化することで安心できる活動を考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・特に長期休暇中はきめ細かな課題を見極め設定していくよう努める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・個別の時間、集団の時間とバランスよく設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、前回の児童状況を振り返り、その日の活動内容についても話し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・全員そろわないこともあるが、できる限り振り返りを行っている。 ・業務日報の作成を全員で確認しながら行い、休みの指導員にも情報共有できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・見返してわかるように記録を残す。抜けがないように意識している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・3カ月～半年に1度行っている。指導員で会議を設け、皆で見直しの判断をしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の活動を組み合わせられるよう努める。
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		3	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要なお子さんがいない。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・見学や電話連絡し、情報共有に務めている。 ・見学に行き、本人の様子を見ることに加え、聞き取りも行っている。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・書面にまとめ、情報の提供を行う。関係者会議でも情報共有する。 ・情報提供している。 ・必要に応じ、保護者様に確認の上、提供している。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援センター主催の研修へ参加している。
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公園にて地域のお子さんと一緒に遊ぶ機会もあるが、その機会も少ない。 ・地域の公園や散歩中に挨拶する程度。
27		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会等に積極的に参加している。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・直接、その日に支援した人が状況や様子を引き継ぐようにしている。 ・連絡帳や送迎時のやり取りを日常的に行う。個別支援計画の説明時には保護者様とゆっくり話す機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの相談があった際には助言を行う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にはなるべくわかりやすく説明するように努めている。また、わかりにくいところや変更箇所は何度でも説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の困り感に寄り添う。内容に応じてチームで検討し、保護者様へ伝える。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で開催できず、今年度も予定していたが、陽性者発生のため中止。来年度は早めの開催を考えていく。 ・難しい状況下だが、実施しようと検討していた。残念ながら、併設施設にて陽性者が発声し、中止。 ・茶話会の場を設けることは可能ではあるが、コロナの影響で実施できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情体制については契約時にお伝えしている。毎年繰り返しお伝えするようにした方が良い。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の予定表に簡単なお便りを載せている ・毎月発行。
	35	個人情報に十分注意している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・書類はシュレッダーにかけている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・口頭にあわせて付箋の活用。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・わかかとしては行っていない。法人としてもコロナ禍で中止。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様への周知ができていない。 ・紙面でお渡しできるように準備中。指導員は一人1部ずつ所持。緊急時や感染症対応は研修や会議等でも確認。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災訓練を年に数回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修で学ぶ機会がある。 ・法人内研修に合わせて部署内研修も行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・診断書の提出は求めているが、保護者様に対応をお伺いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内共有サーバーにて記入。法人全体で共有している。